

地域再生計画『石鎚山系の魅力発信及び持続可能な資源とする事業』

事業の内容

事業目的・概要

- 西日本最高峰の石鎚山をはじめとした雄大な石鎚山系を有する西条市、久万高原町、いの町、大川村においては、**類似の政策目標**を掲げ（※参考参照）、さらには石鎚山系をフィールドとした同様の取り組みをそれぞれが行っているのが現状
- 行政においては限られた資源の中において**より効率的な事業の実施**、また何より**利用者（旅行者、登山者、サイクリスト等）の満足度向上**のためには、行政の枠を超えた**1市2町1村が連携した事業の実施が必要**と考え、実施する
- 他方、これら利用者増進等振興策のみならず、**登山者等の安全対策の充実**、豊富な生態系を有する石鎚山系を**持続可能な資源**とするための取り組みなど多岐にわたる活動、さらにはこれら活動の**継続化に向けた組織等のあり方をDMOを含め検討**

[参考]各自治体における政策目標（重要業績評価指数（KPI））

【西条市】石鎚山登山者数 50千人 ⇒ 51千人、観光入込客数 3,495千人 ⇒ 3,777千人
 【久万高原町】イベント集客数 34千人 ⇒ 50千人、観光消費額 24.3億円 ⇒ 24.5億円
 【いの町】主要観光施設入込客数（町全体） 401千人 ⇒ 450千人
 【大川村】白滝の郷入込客数 7,248人 ⇒ 15,000人

本事業における重要業績評価指標（KPI）

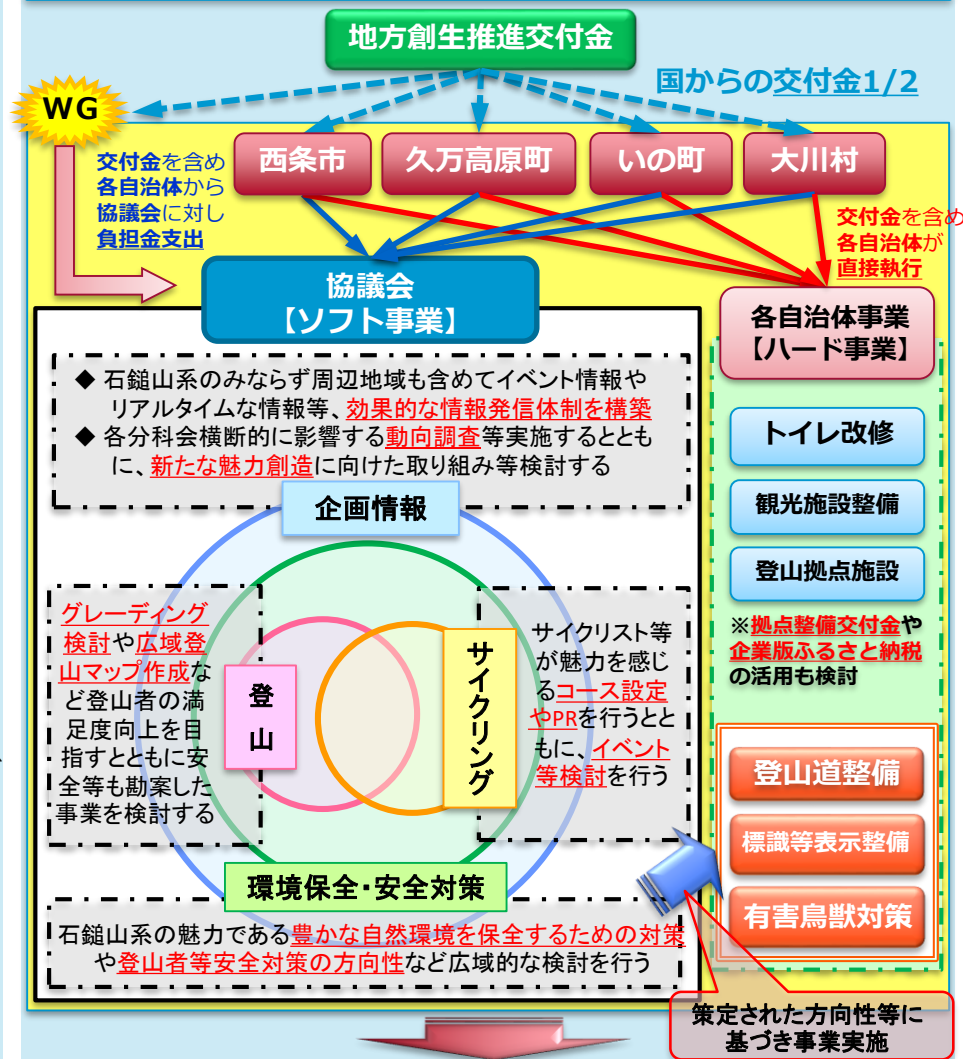
- **石鎚山登山者数 85千人 ⇒ 90千人** 【西条】ロープウェイ利用者、【久万高原】公衆トイレ】
- **周辺主要観光施設入込客数 451千人 ⇒ 500千人**
 【西条】ふれあいの里≪5千人≫、石鎚山ハイウェイオアシス館（道の駅小松オアシス）≪254千人≫、頂上山荘≪2千人≫、
 【久万高原】おもごふるさとの駅≪51千人≫、岩黒レストハウス≪27千人≫、深泉亭面河茶屋≪2千人≫、国民宿舍古岩屋荘≪42千人≫ 【いの町】木の根ふれあいの森≪1千人≫、道の駅木の香≪54千人≫、山荘しらす≪6千人≫、
 【大川村】白滝の郷≪7千人≫】
- **石鎚山系関連イベント参加者数 4,633人 ⇒ 5,100人**
 【西条】西条自然学校 自然観察会等≪2,407人≫、石鎚山スターナイトツアー≪569人≫ 【久万高原】石鎚山ヒルクライム≪602人≫、【いの町】四国のてっぺん酸欠マラソン≪455人≫、氷室まつり≪600人≫】

本事業実施後に期待すること

- 共有化された方向性の下、**継続的**及び新たな実施者による**新たな取り組み創生**
- 周辺山々然り、しまなみ海道、仁淀ブルーなど**他地域と連携した取り組み**に発展

事業イメージ

- 連携して実施する**ソフト事業**は、各自治体が、協議会に対し**負担金を拠出し**、実施
- 本事業に関連する各自治体の**ハード事業**は、交付金を受け、各自治体が**直接実施**
- 協議会の結果を受け実施するハード事業についても、交付金を受け、各自治体が**直接実施**



認知度向上等による登山者等増加、地域経済の好循環創出

地域再生計画『石鎚山系の魅力発信及び持続可能な資源とする事業』

H28年度 ワーキンググループ開催概要

①開催目的

石鎚山系の魅力である自然環境保全をするとともに、登山者等利用者目線に立った安心安全の体制整備等の取り組みを、**行政の枠を超えた多面的、実効的に実施**するため、石鎚山の関係者が一堂に会し、**現状の取り組みや課題の洗い出しを行い、情報整理と課題共有化**を行う。

②目指す効果

現状の取り組みや課題の情報整理と共有化を図ることで、**次年度事業の内容や方向性を決定**するとともに、**今後の事業実施の主体となる協議会を設立**し、共通認識のもと、事業を実施する。

③WGメンバー

大学	愛媛大学社会共創学部准教授 井口 梓	山関係	NPO法人西条自然学校
	高知大学地域連携推進センター特任助教 大崎 優		NPO法人石鎚森の学校
観光協会	(一社) 西条市観光物産協会	【オガサバ-】行政	面河溪を愛する会
	久万高原町観光協会		四国運輸局
	いの町観光協会		中国四国地方環境事務所
観光関係	西条商工会議所	【事務局】行政	四国森林管理局
	(一社) 仁淀バル観光協議会		愛媛県
	株式会社石鎚観光		愛媛県東予地方局
交通関係	石鎚登山ロープウェイ株式会社	【事務局】行政	高知県
	四国開発フェリー株式会社【大阪南港～東予港フェリー】		西条市
	瀬戸内運輸株式会社【路面及び高速バス】		久万高原町
サイクリング関係者	西条市サイクリング大会実行委員会		いの町本川総合支所
	高知県サイクリング協会		

④WGスケジュール

- 【11月16日】 第1回WG開催（本事業の趣旨・概要説明、現状取組課題把握）
- 【1月27日】 第2回WG開催（協議会・分科会案、来年度事業内容検討）
- 【2月17日】 第3回WG開催（来年度事業内容、協議会・分科会）

H29年度 実施事業（案）

○協議会・分科会開催

- ・各分科会は、他分科会との連携も図りながら、各種事業を実施
- ・協議会は各事業実施状況の報告を受け、効果等評価及び今後の方向性を検討
- ・全体を通して、石鎚山系に係る各種動きや課題等、継続的な共有体制を構築

○登山者等動向調査

- ・登山者や交通機関利用者、ツアー来訪者などへの調査とともに、WebやGPS等を活用した調査などを行うことにより、今後の各種事業の方向性等に反映させる。

○情報発信等体制構築

- ・Web等によるリアルタイムな情報発信体制の構築、広報媒体作成の検討
- ・ビジターセンター等情報発信拠点設置の検討

○登山者等受入体制強化

- ・縦走路グレーディング検討、またその検討結果を付加した広域登山マップ作成
- ・ガイドの在り方検討（ex.ガイドライン策定、認定制度等体制づくり）

○サイクリング活性化

- ・サイクリングコース策定、PR用コースマップ作成
- ・今後のサイクリングイベント実施について検討

○環境・安全対策ロードマップ検討

- ・広域的かつ効果的な環境保全対策、安全対策を行うためのロードマップ策定に向けた検討を行う

○フォトコンテスト

- ・次年度以降のPR用写真素材として活用するなど幅広く募集を行う

■ライブカメラ設置（西条市・久万高原町・いの町）

- ・天候、山の状況（アケボノツツジ開花状況、紅葉状況）等リアルタイムな情報発信のため、各自治体にライブカメラ設置

■登山道等補修整備（西条市・久万高原町）

- ・危険個所の補修をし、登山者等の安全性を確保する。

■簡易トイレ設置（いの町）

- ・吉野川源流橋付近

地域再生計画『石鎚山系の魅力発信及び持続可能な資源とする事業』

(参考) 周辺主要観光施設位置図



昔期中新世(約2000万年前)の地層が残る奇麗な国指定の名勝。長年の水の浸食により、突き出しになった断崖には無数の穴があり、そのことから古洞窟と呼ばれるようになったといわれる。

